



平成 27 年 11 月 9 日

報道機関各位



鈴木厚人学長が「2016 年ブレイクスルー基礎物理学賞」を受賞

本学の鈴木学長と、鈴木学長が東北大学で立ち上げたカムランド(1000 トン液体シンチレータ・ニュートリノ検出器)が、ニュートリノ振動の発見と研究についての功績を認められ、「ブレイクスルー基礎物理学賞 (Breakthrough Prize in Fundamental Physics)」を受賞しました。

この「ブレイクスルー基礎物理学賞」は、アメリカに本拠地を置くブレイクスルー賞財団が授与する賞で、2012 年にロシアのユーリ・ミルナー氏の提唱により創設され、基礎物理学で多大な業績を上げた研究者に毎年贈られている賞です。今回は、カムランド実験、東京大学宇宙線研究所を中心とするスーパーカミオカンデ、カナダのサドベリー・ニュートリノ天文台(Sudbury Neutrino Observatory: SNO)、中国の大亜湾 (Daya Bay) 実験、及び KEK(高エネルギー加速器研究機構)を中心とする長基線ニュートリノ振動実験 K2K・T2K 実験グループの受賞が決定したものです。

今回の受賞理由は「ニュートリノ振動という本質的な発見をし、素粒子物理学の標準理論を超える新しいフロンティアを開拓した実績」で、2015 年ノーベル物理学賞受賞の梶田教授ら他 5 名との共同受賞となります。

鈴木学長は、素粒子の 1 つであるニュートリノの一種で、原子炉や地球内部において生成され飛来する、原子炉反ニュートリノや地球反ニュートリノを、カムランドにより観測しました。その結果、反ニュートリノ振動現象の検出に成功し、反ニュートリノに質量があることを発見、反ニュートリノ振動現象の振る舞いから、30 年来の謎であった「太陽ニュートリノ消失現象」を解明しました。さらに、地球反ニュートリノの初検出に成功し、地球内部エネルギーや、内部構造をニュートリノで調べるニュートリノ地球科学の新しい研究分野を創始しました。

本賞の発表及び授賞式は、米国カリフォルニア州サン・フランシスコにある NASA のエイムズ研究センターで現地時間の 11 月 8 日(日本時間 11 月 9 日)に行われました。2012 年の基礎物理学賞の設立以来、今回が日本人では初めての受賞となります。

※ブレイクスルー賞財団のプレスリリースはこちら

<https://breakthroughprize.org/News/29>

※受賞者の概要はこちら

<https://breakthroughprize.org/Laureates/1>

※ブレイクスルー賞について

同賞には、基礎物理学賞のほかに、生命科学及び数学の分野があり、2013 年には、京都大学の山中伸弥教授 (iPS 細胞) が生命科学ブレイクスルー賞を受賞している。



2016年ブレイクスルー基礎物理賞受賞が決定した鈴木厚人岩手県立大学学長

【本件に関する問合せ先】

事務局 企画室 企画広報グループ 村上

TEL : 019-694-2005 FAX : 019-694-2001

E-Mail : kikaku-pr@ml.iwate-pu.ac.jp